

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者A】

所属	経済	学部	経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した目的は、自分の英語のスキル向上のためと、海外経験が自分の人生にとってプラスになると思ったからです。今後、社会人になったときに英語を使う場面が多々あると思います。そういう時に困らないように英語のスキルを上げたいと思いました。そして海外に行くことで、英語スキル向上以外にもコミュニケーション能力の向上やさまざまな人種の方との交流などもできると思ったので留学に行こうと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では毎日授業を受け、他の留学生ともコミュニケーションを取り、とても良い雰囲気です。授業を受けることができました。そして生活面では、ホームステイ先の家族と様々なところへ出かけたり、日本では食べることができない食事などを体験させてもらいました。また、毎日ホームステイ先の家の近くのビーチへ行き、日本では味わえない日々を過ごしました。そして、日本とは異なった街の雰囲気なども感じるようになって、とても内容の濃い1ヶ月間でした。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回の目標だった英語のスキルは向上したと思います。話す時に言いたい単語がすんわりとは出てこないことがあるのですが、聞くことは会話の内容がなんとなく理解できるようになったと思います。また、コミュニケーションの部分も、様々な国の留学生やオーストラリアの店員と話すことで向上したと思います。オーストラリアで感じたことは、オーストラリアの人はとても温かいということです。バスの出発時刻を過ぎているのに、運転手さんがわざわざ待っていてくれたこともあり、道端ですれ違ったりした人が挨拶をしてくれることもあり、また、オーストラリアは全然雨が降らないのでとても過ごしやすい気候だと思いました。街の中にはゴミも落ちていなくてとても綺麗な街でした。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今後、様々な場面で英語が必要になると思います。その時に、この留学で学んだ英語を活用していきたいと思っています。また、この留学で様々な人と出会うことができました。そのような人との繋がりや出会いを今後も大切にしていきたいと思っています。さらに、この留学で得たコミュニケーション能力も今後社会に出たときに活用していきたいと思っています。そしてこの留学で得た経験は海外に行かないと得られない経験ばかりです。この経験を忘れずに大切にしようと思いました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者B】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した目標は英語力の向上および国際交流を通し自分の幅を広げることでした。就職に活かそうという目的は考えていませんでした。代わり映えのない生活を一変させ、価値観を大きく変えるという目的で参加しました。オーストラリアでは、規則正しい生活をおくることができました。友達や国際交流および現地の方達とも関わることができました。とても満足のいく研修となりました。外国は自由で何事にもとらわれない生活ができると思いました。私の性格は日本より海外の方が適しているのではないかと錯覚するほど自由で生活しやすく感じました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では主に英語で生活しました。他の留学生との交流がありました。オーストラリアのスポーツやアクティビティ、動物や食物について多く勉強しました。授業に関しては、わからない単語は調べて例文などを効率的に学習することができました。ホストファミリーと一緒に学校の授業では行くことがない名所に行きました。休みの日は友達とバスや電車の乗り方などに試行錯誤しながら外出しました。生活面では早寝早起きで健康的な日々を過ごすことができました。早寝早起きをすることで1日がとても充実するということを改めて実感させられる毎日でした。また、ホストファミリーが準備してくれた食事は健康的で、心なしか体の中から浄化されているように感じました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回の留学の目標は、英語の向上および国際交流を通して自分の幅を広げることでした。1か月で英語力は向上したと思いますし、国際交流を通して自分の幅を広げることもできました。今も現地でもできた友達とメールの交換をしています。新しく発見したことは、外国は自由で何事にもとらわれない雰囲気であるということでした。電車の中ですら自由な雰囲気、日本とは違う光景でした。また、ホストファミリーの食事は塩分控えめで健康的でした。感じたことは、英語は全部理解できずとも、理解できる範囲内で英語を汲み取っていけば、ある程度理解できるということでした。オーストラリアの人は日本人よりもフレンドリーで意気揚々としていました。日本人もフレンドリーになれば良いと思いました。私は性格的にもオーストラリアに適していたのか、困ったことはなくて良かったと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学経験をきっかけに、今後もっと海外に行きたいと思いました。より多くの国に行き、自分の可能性を引き出していきたいと思いました。「井の中の蛙大海を知らず」という言葉があります。僕はまだ世の中の100分の1すら知ることができていないのではないかと思います。これから様々な世界を知り、価値観を広げていきたいです。在学中にも海外に行く機会があると思うので積極的に参加したいと思います。この留学が私を変えてくれるきっかけとなったので、参加して良かったと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者C】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は以前から留学に興味があったことと英語力を上げたいと思ったからです。私が高校生の時、姉がニュージーランドへ3ヶ月留学に行っていました。帰ってきた時に「とても楽しかったので帰りたくなかった。また行きたい」と言っていました。その時、私も留学したいと思いました。大学を選ぶ際、留学の機会が多い神戸国際大学を選びました。英語力を上げるためには勉強することはもちろんですが、実際に現地に行き多くの人と英語で話すことが1番効率的であると私は思うので、今回の留学に参加することに決めました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	ホームステイ先では、日本人が私1人だったのでとても不安でした。私の英語が通じるか、ホストファミリーの話す英語を聞き取れるか、と不安がありました。ですが、ホームステイ先に着いた時にホストファミリーがとても優しく接してくれたので安心しました。最初は、ホストファミリーの英語をうまく聞き取れず難しいと思うことがありました。ですが、毎日英語でたくさん会話することで、完璧に理解できなくても大まかな意味を理解できるようになりました。また、相手にも私の英語が伝わるようになるなど、少しずつ英語能力が向上していきました。学校では先生の質問に積極的に英語で答えることによって理解できるようになりました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	留学に行って私が感じたことは、オーストラリアの人はとてもフレンドリーで優しいと思いました。ホストファミリーや電車で近くに座った現地の学生たち、夜に公園でサッカーをしていて話しかけてくれた人たち、全員がとても優しく、たくさん話しかけてくれました。皆、日本が大好きで、日本人の私に親切にしてくれ人の温かさを感じました。私はこの1ヶ月で英語力を向上させることを目標としていました。最初の1週間は現地の方が話す英語を聞き取れず難しいと感じていました。外出した時にお店の方や現地の方と話すことで、2週間目くらいから少しずつ理解できるようになっていきました。最後の1週間には、拙い英語でしたが会話ができていたと思います。留学中に1番思ったことは、留学前にしっかりと英語を勉強してから行けば良かったということでした。理由は、より多くの現地の方と話をしたかったですし相手が何を伝えようとしているのかをより深く知りたいと思ったからです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で私はチャレンジすることを学びました。留学へ行く前はとても楽しみな一方不安もありました。外国で生活してみて感じたことですが、英語が多少できなくてもなんとか生活をしていけるのではないかと思います。実行する前からできないと決めつけるのではなく、実行することが大事だとわかりました。私には「海外で働く」という夢があります。今後は就職活動もあります。それらに繋がるように、実行したいと思ったことは何でもチャレンジしていこうと思います。
5. 自由記述	この留学はとても楽しかったです。自分のためになる良い経験ができました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者D】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は以前から外国に興味がありました。日本語とは別の言葉で世界の人と繋がれることに憧れを感じ、昔から英語の勉強を頑張ってきました。高校生のときに1度渡航する機会がありましたが、新型コロナの影響でそれが叶いませんでした。今回、学校の授業で約1ヶ月間海外に行けることを知りました。そして1度は経験しなかったホームステイでもあったため、留学に参加することを決めました。私の英語はどれ位のレベルなのか、ネイティブの人にも通じるものなのか、そして英語スキルを向上させたい、色んな期待と目標を込めた留学でした。語学学習だけではなく、現地の空気感や生活にもとても興味があったので、今回留学に行けて本当によかったです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	私はKIUから行ったメンバーが1人もいないクラスで授業を受けることになったので、ほぼゼロからのスタートでした。そのおかげで新たな出会いや刺激が沢山ありました。授業は座学以外に動物園や大学の向かいにあるボタニカルガーデンに出かけるなどの課外授業がありました。充実した学校生活を過ごすことができました。学校以外では、ホストファミリーと過ごしたり、大学の友達とシドニーに出かけることもありました。オーストラリアを存分に楽しむことができました。オーストラリアでは9月1日が父の日でした。同じホームステイ先の友達と一緒にホストファーザーに花と手紙をプレゼントしました。週末はネットボールというバスケットボールに似たスポーツの観戦に行きました。また、ビーチに連れて行ってもらうこともありました。全てが新鮮でどの瞬間も噛み締めて過ごしました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	オーストラリアでの生活を1ヶ月間経験して、リスニング能力が確実に向上したと感じています。ネイティブの人と同じようなスピード感で話すことは難しいからこそ、少しでも多く理解しようと聞くことに徹する姿勢を持ち続けたことが理由の一つにあると思います。現地ならではの英語のスラングもいくつか覚えられました。その一つに"Gotcha"という言葉があります。「分かった!」「やってやったぜ」という意味で、複数の意味を持つ言葉です。日本語で言う「すごい」「やばい」と言った言葉と同じような感覚で使えると思います。また、言葉を略す傾向があることも知りました。Avocadoは"Avo"、Good dayは"G'day"など、外国特有の言葉の使い方もいくつか学びました。あとは何より、全てが「値段が高くてサイズが大きい」これが基本の海外クオリティでした。野生の鳥ですら日本に比べてとても大きくて驚きました。他には、飛行機の機内食が想像よりも豪華でした。私は国際線の搭乗が初めての経験でした。機内ではただ座っていただけで、定期的に何度も飲み物や食事が提供されました。この状態では食事トレーニングが必要になると思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はエアライン業界の職業に就くことを今の目標にしています。海外、日本どちらかで働くことになったとしても、必ず外国人の方と関わる瞬間は多いと思います。これからも英語を好きでいる姿勢や勉強を惜みず、将来の夢を叶えられるように精進したいと思います。また、何事にもチャレンジしてみるということを大切にしたいと思いました。見知らぬ土地、見知らぬ人、味が予想できない食べ物など、私にとってかなり刺激的な経験でした。これからも、まずは試してみるという心持ちでトライし、自分の経験値をさらに上げていけると嬉しく思います。そして新たな発見をして、視野を広げられる人になりたいとも思いました。
5. 自由記述	シドニーに行った日のことは、生涯忘れることは絶対にない濃い一日になりました。オーストラリア滞在中でもかなり印象深い時間を過ごしました。初めての景色を目にして、とても圧倒されました。またいつか同じ景色を見る時には、今回の留学を思い出すのだろうかと思ひ、余計に感慨深いものがありました。

## 海外留学報告書

## 【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は、他国の文化の違いや言語の違いを勉強するためです。以前から留学をするということが私の夢でした。日本は食文化の国ですがオーストラリアの食文化とはどのような違いがあるのか、日本の教育で私が学んできた英語の発音方法や文法と、オーストラリアの英語はどのような違いがあるのか、街の風景や公共の違いなどをこの留学を通して学びたいと思いました。1か月という短い期間でしたが、今回の目標はオーストラリアの文化を学び英語の聞き取りを向上させることでした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	オーストラリアの生活は朝早く始まりました。学校の授業開始時間に間に合うように6時45分に起床していました。ホームステイ先の冷蔵庫内の食物を自由に食べることができました。私は朝食にシリアルを食べていました。オーストラリアの大学の授業はグループワークが多く、内容が充実していたのであっという間に時間が進んでいく感じがしました。休み時間は構内にあるカフェに友達と行っていました。午前中の授業は8時30分から10時30分まででした。30分休憩の後、12時30分まで午後の授業を受けると学校は終わりでした。ホームステイ先での夕食は18時くらいでした。夕食後はホストファミリーと話をしたり、お風呂に入るなどをして23時には就寝していました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回の留学で、英語に慣れるということができたと思います。最初は英語のスピードについていけず、会話の内容を理解することを難しく感じました。しかし日を追うにつれて、徐々に会話の内容を理解できるようになりました。スピーキングは1か月では思うようにいきませんでした。ホストファミリーと話している中で勉強になったと感じることがありました。オーストラリアの人々は失敗を恐れず、失敗を恥ずかしいとも思わず、間違いはあって当たり前という前向きな思考を持っていました。とても素晴らしいことだと思いました。オーストラリア留学に行って一番大切だと感じたことは環境づくりであると気がつきました。初めての海外で日本とは全く違った環境の中で何もかもすべて自分でやらないといけませんでした。新しい自分に出会えることができたのではないかと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学を終えても引き続き英語の勉強は面倒がらずに欠かさずことなく、オーストラリアで1か月過ごしたことをモチベーションにして頑張っていきたいです。1か月しか滞在していませんが、オーストラリアに行き、今までよりも考え方がポジティブ思考になった気がします。ホストファミリーから言われた「失敗を恐れない」ことや「何事にも挑戦すべきだ」という言葉を肝に銘じて、自分がしたいことに対して恐れずに、実行・挑戦していきたいです。今後の就職活動にもその気持ちを活かしていきたいです。また、日ごろから英語にふれる機会を持ち続けていきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回の夏期英語研修に参加した理由は、2つあります。まず1つ目は、海外に行ったことがなかったので海外の文化や雰囲気を知りたいと思ったからです。日本とは違う世界の人々の生き方や考え方にとても興味がありました。そして2つ目の理由は、英語能力の向上のためです。現地で実際に見て、感じて、聞いて、話すことが私の英語能力向上に繋がると思い、今回の夏期英語研修に参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では、毎日どこかへ外出することを意識しました。理由は、海外で英語にふれるチャンスが多くある中で、家に引きこもっていても勿体ないと感じたからです。平日は授業の後に学校の近くにあるモールや海へ何度も行きました。休日はシドニーへ行ったり、山へ行って大自然を感じました。また、オーストラリアは朝型の人が多いように思いました。学校がある日は毎朝6時半に起床していたのですが、既に開いているお店が多くありました。夜21時にはほとんどのお店が閉店していて、日曜日には16時に閉店のお店も多くありました。また、オーストラリアの人々はとても優しくかったです。私の拙い英語を笑顔で聞いてくれたので、英語を話したいという意欲がとて上がりました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回の夏期英語研修の目標達成度は80%です。理由は、毎日外出していたこともあり、現地の方と話す機会やオーストラリアの文化や雰囲気を感じる機会を多く持つことができました。また、オーストラリアの人々は金曜日という日をとても大切にしているということを発見しました。金曜日は友達や家族と外出する人や、家族でホームパーティをする家族も多いように思いました。いつもより豪華な食材を購入して少し特別なディナーをする人もいました。オーストラリアの文化を感じられる良い機会になりました。英語能力向上という点でも成長しました。最初は英語を理解することが難しく、理解できるようになるのかという不安がありました。ですが、毎日少しずつリスニング能力が向上していると感じました。多くの人と会話をし、様々な表現方法を勉強すれば、私の英語能力は必ず向上していくという確信に満ち溢れるまでのレベルアップを感じました。一方、会話中に自分の伝えたいことをどうに表現してよいのかが解らないということがありました。日本語と英語の表現方法が異なる時など、現地の方の表現方法をしっかり聞けばよかったと思います。英語で自分の思いを100%伝えるということは難しいことであると改めて感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は今回の留学経験を、今後2つのことに活かしていきたいと考えています。まず1つ目は、外国の方に積極的に話しかけることです。これまでは「どうせ話せないから」と思って自分から積極的に話しかけることをしませんでした。オーストラリアの人は私がアジア人だと分かりながらも積極的に話しかけてくれる方が沢山いました。会話ができないと決めつける前に、まずは自分から行動していこうと思いました。2つ目は、伝えたいと思う気持ちを持つことです。今までは英語という単語を聞いただけで諦める気持ちになっていました。現地では伝えたいと思う気持ちがあれば、相手は聞いてくれました。文法通りに話さなくても理解してくれることを学びました。実際、文法通りに話すことはあまりなく知っている単語やジェスチャーだけでも伝わることが多くありました。無理だと思わず前に伝えたいと思う気持ちを相手に感じてもらうことが大事だと思いました。今後は、伝えたいと思う気持ちを言語や環境の理由で見逃したりせず伝える方法を探して伝える努力をしようと思います。
5. 自由記述	今回の留学は私の人生のキーとなるくらい濃いものでした。初めての海外は刺激的でこんな世界も存在すると感じさせてくれました。出発した時は不安が多く怖い気持ちがありましたが、不安になる必要はなかったと思うくらい優しい国でした。わからないことがあったら現地の人に聞くことが1番良いということ学びました。笑顔は世界を救うとよく聞きますが、それは本当でした。笑顔でいれば人々は話しかけてくれますし、助けてくれることもあります。笑顔でいると自分も楽しい気持ちになれると強く思った留学でした。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	以前から英語が好きだったので、外国へ行き外国の方とコミュニケーションを取りたいと思っていました。私は中高校時代に英語の学習が思うようにいなくなり、英語から遠ざかっていました。ですが、英語が嫌いになったわけではありませんでした。ネイティブの方と会話をした時に私の英語は通じるのか、英語力がどれくらいあるのかわりたかったのでこの留学を希望しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では常に英語で会話をし、授業はジェネラルイングリッシュでした。内容としては比較的簡単なものであったと思います。全て英語で説明されるため知らない単語がよく出てきました。私はそれらの単語を翻訳機で調べて覚えていくようにしました。週末は自由行動でした。シドニーやウーロンゴンのショッピングセンターに行きました。その時は英語で料理を注文したり、道を聞いたりしました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	留学の成果は、知らなかった単語を沢山知り、覚えて、使うことができるようになったことです。日常生活でも英語を使うため徐々に英語力がついていき、翻訳機を使う頻度が下がりました。レストランでも最初は写真を見せてこれと同じものとか、食べたことがあるものをオーダーをしていました。英語が上達していくにつれ、おすそめを尋ねたり、食べたいものを自由にオーダーをすることができるようになりました。ホストファミリーとの会話も、最初は学校はどうだったのか、楽しかったのか大変だったのかといった、初歩的な会話内容でした。少しずつ会話ができるようになるとジョークも言えるようになりました。すると「ホストファミリーから上達したね。すごいよ!」と褒めてもらい、私は英語に自信を持つことができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学を通して私は英語力を向上することができたので、英語で生活する環境をもう一度体験したいと思いました。また、外国の人は日本人と違い、大らかで気さくで、日常を楽しんでいるように思いました。将来、私は外国で仕事してみたいと思います。さらに、外国に行ったことによって視点も変わり物事の見え方も変わりました。これからは、この経験を活かした生活を送りたいと思います。
5. 自由記述	

## 海外留学報告書

## 【参加者H】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 7 月 17 日 ~ 2024 年 8 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は、英語力の向上と異文化体験を通じて視野を広げたかったからです。オーストラリアは多文化社会であり、様々な国の人と交流できると思ったからです。また、オーストラリアは自然が豊かで環境問題への取り組みも進んでいるため、自然保護の意識を高める機会としても適していると思いました。これらの要素が、将来のキャリアや個人の成長に大きく貢献すると思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	オーストラリアでの活動内容は、ウーロンゴン大学に通いながら英語力の向上をさせることに加え、現地の文化や生活習慣に積極的にふれることでした。授業ではスピーキングやリスニングの英語力を磨きました。課外活動ではシンビオ動物園やウーロンゴンビーチなどに外出してオーストラリアの多様な文化を学びました。また、週末にはホストファミリーと一緒にKiamaのフローホールやMINNAMURRA FALLSなどの自然豊かな観光地に出かけました。日本ではなかなか見られない景色を見ることができて感動しました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回の語学研修を通じて多くの成果を得られたと思います。まず、語学力に関しては留学前と比べて向上したと思います。新しく発見したことは、多文化共生です。オーストラリアは様々な国からの移民が多く、社会全体が多様性を受け入れている国だと思いました。特に驚いたことは、どの文化に対しても尊重の姿勢が強く、差別や偏見が少ないことにも関心しました。次に自然保護の意識が高いことを学びました。カンガルーやコアラなどオーストラリア特有の動物を見学し、自然の豊かさとその保護の重要性について新たに考える機会になりました。オーストラリアで新しく感じたことは、リラックスした生活スタイルでした。授業中に休憩があり、生活の中にもリフレッシュする時間がしっかりと確保されていました。また、自然との密接な関係にも新しい感覚を覚えました。週末に気軽に海や山へ出かけるライフスタイルは、日本ではあまり馴染みのないものでした。自然がすぐ近くにあり、自然を大切に作る姿勢が生活の中に深く根づいていると思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学で得た経験を、今後の人生に多方面で活かしていきたいと思います。多文化共生を経験したことで、異なる価値観を持つ人とコミュニケーションを取り協力して物事を進める力が身についたと思います。このスキルは現代社会で特に重要だと感じています。また、オーストラリアで学んだ環境問題への意識や自然に対する姿勢を今後の生活においても意識したいと思います。さらに、自分の視野が広がったことで新しい挑戦に対しても前向きに取り組む自己成長を続けていく決意を持ちました。
5. 自由記述	英語力が向上し多文化共生に触れたことで異なる価値観を学びました。また、オーストラリアの自然にふれたことで環境問題への意識が大きく変わりました。この経験は将来に必ず生きていくと思います。本当にこの留学に参加して良かったと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

## 海外留学報告書

## 【参加者1】

所属	経済	学部	経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をしたいと思った一番の理由は海外はどんな世界なんだろうという好奇心からです。私は生まれてから日本という国で暮らしてきました。日本という国は素晴らしい国だと思いますが、私はどうしても海外という自分がまだ踏み入れたことのない所へ行ってみたいと思いました。今回留学で行った先は、オーストラリアという国でもとも人気のある国です。留学の目的はとにかく様々な人とたくさん会話をする事でした。オーストラリアは世界中の異なる国籍の方が多くいて、様々な人と会話するには最善の場所でした。コミュニケーション能力も上がると確信していました。目標は英語で海外の方と最低限のコミュニケーションをとれるようになることでした。私は英語に自信がありませんでした。これからの社会ではグローバルな能力は必要になると思います。この留学で少しでも英語力を向上できるように勉強しようと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業内容はとてもアクティブなものでした。毎授業、必ずランダムにグループを作って自分のことを話したり相手が話していることを聞くことで、人とのつながりが増えていく感覚がありました。結果、多くの人とコミュニケーションをとることができました。もちろん英語の勉強も丁寧に教えていただきました。一つの項目が終わるごとにしっかり理解できているかどうかを確認してくれました。自分の英語レベルがどんどん上がっていく感覚がありました。生活面では何一つ不自由なく過ごすことができました。現地のホストファミリーが優しく歓迎してくれたことによるものだと私は思います。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	留学の成果としては、まず英語力が留学へ行く前に比べて格段に上がったことです。これはまだテストなどの点数を確認したわけではないですが、確実に上がっていると思います。何より英語に対しての自信ができました。今回の留学は私にとって良い経験だったので長期留学へ行きたい気持ちが強くなりました。英語に関して新しく気付いたことがあります。それは英語を話す上で一番良くないのは、自信を持たずに英語を話してしまうことです。理由は、拙い英語でも私が必死に伝えようとすると海外の方たちは優しいので必ず助けてくれたり、理解しようとしてくれます。しかし自信を持たずに英語を話すと、いくら上手く言えた時でもなかなか理解してもらえないようでした。私はそういう場面に遭遇しなかったのですが、目にすることがありました。英語が上手なのにそれではもったいないと感じました。これは海外に行く方々にぜひ覚えてほしい点です。他に印象的なことは、人が温かくて優しいことです。日本にいと笑顔の人がとても少なく感じます。オーストラリアの人は笑顔の人が多くて毎日がとてもハッピーな雰囲気でした。これは日本でも見習った方がいいと感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はこの留学での経験を、自分の人生のすべてのことに活かしていきたいと思っています。まず最初に、覚えた英語を自分のものにするために大学での英語の授業を今までよりさらに大切にしていきたいです。また、笑顔をもっと増やそうと思います。笑顔だけで自分に対する印象もさらに変わると 생각합니다。一番は海外のマインドで生活していくことです。心に余裕があればもっと人生楽しくなると思います。この留学で学んだマインドをもって意識高く生活していきたいと思っています。
5. 自由記述	さらに多くの国へ学びに行きたいと思っています。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者J】

所属	経済	学部	経済	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由は、以前から英語力を向上させたいと考えていたからです。世の中の流れと私が思う将来の進路を考えた結果、外国の環境や文化に対してアプローチを仕掛けておく必要を感じたからです。オーストラリアは住みや1度行くと日本に帰りたくなくなるなど、良い所を聞く事が多かったですし、実際に行ってみたいという興味もあったからです。私自身、コミュニケーション能力には少し自信がありました。海外でどれだけ通用するか、さらにその能力を高めていきたいという考えのもと留学しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	学校での活動内容は、外出して観光地を巡りその場所の自然にふれる課外活動と、教室で文法などの基礎的な勉強をする座学の2種類ありました。課外活動ではKIUの学生全員でビーチや動物園へ行きました。その地域の環境や生活に関して学校内の生活ではふれられない角度で経験を積ませてもらえるものでした。座学は事前に行っていたレベル分けでクラスが分かれていました。主に文法や現地ならではの言葉の使い方を基本から応用まで幅広く教えてもらえるものでした。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	今回、オーストラリアへ留学に行き現地の人と交流をする中で感じたことがあります。日本人と比べて交流ということに対して重く構えないけれども重要度は高く捉えていると感じました。そう感じた要因として、コンビニやスーパー、雑貨屋や服屋などのいかなる場面でも人と人が必ず会話をしていました。知りあい同士はもちろん、知らない人や観光客に対しても同じくらいの時間を割いていました。そのような場面を多く目にしましたし、私がお店で会話をした時もそう感じた事が多かったからです。また、オーストラリアの人はプライベートを大切にしていると思いました。それは、お店の営業時間が短く、閉店時間が早いからでした。今回の留学の目標は、コミュニケーション能力と英語力を向上させることの2つでした。どちらも達成できたと思います。ホームステイ先やお店などで会話する機会があれば、積極的に会話をするようにしました。そのため、英語を使う機会も多く、英語能力は留学前よりも向上できたと感じています。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	KIUは国際大学ということもあり留学生と交流できる機会なども多いので、積極的に交流を増やしていきたいと思っています。私の卒業後の進路が営業職ということもあり、海外の人とも接する機会も増えると思います。日本でもモチベーションを維持して、英語力の向上を目指していくつもりです。人と会話をする時、今回のこの経験を元に多角的な視点を持ち、活用していこうと思います。
5. 自由記述	今回、海外研修というなかなか経験ができない機会を準備していただきありがとうございます。この経験を糧に、実行するということに対して恐怖心ではなく好奇心を持って取り組んでいきたいと思っています。改めて、このような経験をさせていただき準備して下さった人たちに感謝を申し上げます。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者K】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は将来したいことが明確ではありませんでした。そして自分の将来にたくさんの不安を持っていました。「このまま自分は時間に身を任せていいのか」「なにか自分を変えるきっかけはないのか」と様々なことが頭をよぎっていました。その時、偶然にオーストラリア1か月留学という広告を見つけました。その時にすぐに「行こう。」と決めたことが参加のきっかけです。また、私は海外に興味があり将来は海外に住んでみたい、という思いがありました。この留学プランは私に合うと思い留学を決めました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	私のクラスには同じ大学の人がいなくとも良かったと思いました。なぜかという、留学行く前に「たくさんの友達を作る」という目標を立てていたからです。その目標通りたくさんの友達を作ることができました。さらに様々なアクティビティに参加し、オーストラリア人の友達もたくさん作ることができました。ジムを契約し勇気をもって積極的に私の拙い英語で話かけた結果、10人ほどのジムの仲間も作ることができました。ホームステイ先でもたくさん会話をし英語力をレベルアップさせました。最初は本当に会話の内容を理解することが難しく感じました。何と返事をすれば良いかも解らない状況でした。日を追うごとに次第にできるようになっていきました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	目標の達成度は100点満点中200点です。やり残したことは、何もありません。多くの文化に触れ、直接肌で感じ、とても良い経験ができました。なによりも、私がどうい人かということに気づけたり、自分に自信をもてるようになりました。他にも今後、自分がチャレンジしてみたいことなど沢山の目標ができました。カルチャーショックはひとつもなく、私にとっては良いことしかありませんでした。オーストラリアでは皆が優しく、私が困っている素振りや、英語が解らない時にはゆっくり話してくれたり「大丈夫、がんばれ」と親切に対応してもらいました。アクティビティにも誘ってくれたり、ミスをしても「いいよ、いいよ！」といやな顔をひとつも見せずにたくさん励ましてもらいました。それは自分の中でとてもいい流れを作ってくれました。オーストラリアの人は人と人との繋がりを大事にしていると身をもって感じました。今年のクリスマスには、留学先で同じクラスの仲間だったメンバーと集まる約束をしています。来年はホームステイ先のsisterが日本へ遊びに来てくれる予定です。オーストラリア滞在中だけの関係に留まらず、今後も繋がる関係を作れたことが何ものにも代えがたい成果です。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	オーストラリアの良い文化などを学校や私生活において還元したいと思います。今やりたいことを全力で全うしようと思います。それは何かというと、英語力の向上です。さらに英語力をつけて、来年も海外へ行きたいと思いません。その先に自分のしたいことを見つけることができれば良いと思います。将来の目標を決めることを焦らず、今の自分ときちんと向き合っていれば、自ずと将来の目標は見つかると思います。この経験を忘れずに、これから活かしていきたいと思いません。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は、日本以外の国の文化や人、環境について興味を持ったからです。オーストラリアの人とコミュニケーションを取り、様々な文化を体験し、将来の自分の人生のヒントを見つけに行くことが目的でした。オーストラリアの人たちと会話することで多くの友達を作り、自分の視野を世界へと広げたいと思いました。この留学を世界へと羽ばたくきっかけにしていきたいと思いました。英語を学ぶ最大の方法として現地の方とコミュニケーションを多く取ろうと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	月曜日から金曜日は毎日英語の授業がありました。現地の先生の英語でリスニング能力を鍛えながら授業を受け、とても有意義な時間を過ごしました。午前中の授業後は、現地の人と交流するために図書館へ行きました。現地でできた友達とコミュニケーションを取ったり一緒に勉強をしました。家に帰った後は、ホストマザーと一緒に夕食を食べました。オーストラリアや日本のことについて何時間も会話をし、英語に多くふれるようにして1か月を過ごしました。英語に毎日ふれることによって自然と自分の気持ちを英語で伝え、相手の伝えたいことを聞きとりができるようになり、英語の能力は向上したと思います。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	オーストラリアに行く前に心に決めていたことは、多くの英語にふれることとあらゆる経験をしようということでした。毎日の学校の授業や日常生活をする中で、英語というものを直に感じながら学ぶことができたことは私にとってとても良い経験になったと思います。また、オーストラリアの文化と日本の文化の違いも感じることができました。特に、違いを感じたことはコミュニケーションの違いです。日本では相手を考慮し礼儀正しいコミュニケーションスタイルが一般的です。オーストラリアではジョークを時々含むカジュアルなスタイルが一般的でした。その違いに魅力とおもしろさを感じました。今回の留学の目標にしていた自分の視野を世界に大きく広げることに繋がったように思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	このオーストラリアへの留学で、社会的価値観は人それぞれで違うことと、現地の英語の使い方を学びました。今後、私が社会に出て他国籍の人たちとコミュニケーションをとる中でこの学びを経験したことは必ず活かされると確信しています。社会に出てからだけでなく、道端で困っている外国の方がいたら積極的に助けてあげようという自信にもなりました。他国の人と交流するときにも活かしていきます。
5. 自由記述	この留学は自分を大きく成長させてくれる素晴らしい機会となりました。ありがとうございました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者M】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が今回の留学に行きたいと思ったきっかけは、中学3年生の時にハワイへ3週間の短期留学に行ったことです。その時は自分の意思よりも、仲の良い友人が行く事や家族からの後押しが大きかったと思います。しかし今回は誰に左右されることもなく、自分の意思で研修に参加したいと思いました。中学生の時の短期留学へ行って以降、再度留学へ行きたいと思っていました。高校生の時にも考えていましたが、新型コロナの影響もあり実施されませんでした。去年は大学に入学直後で見送りました。できるだけ早く行こうと考えていたので、今年のオーストラリア研修に参加する事にしました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では平日は毎日午前中に授業がありました。レベルごとのクラスに分かれていました。違う国や地域から来ている留学生と一緒に講義を受けました。私のクラスには知り合いが全くなかったです。最初は不安もありましたが、自分から積極的に声をかけることで新しいコミュニティも広がりました。お昼休みは他の大学生やKIUの大学生と一緒に過ごしました。その日の出来事をホストファミリーに話すと、いつも「練習あるのみ！」と言ってくれました。その言葉が勉強の糧となっていました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	オーストラリアの人々はとてもフレンドリーで温かい国だと思いました。なぜかという、友人とショッピングモールへ行った際、お店に入ると必ずと言っていいほど「How are you?」と店員さんが私達に話しかけてくれました。日本よりも店員さんとお客さんの距離が近く、服装などを褒めてくれることもありました。日本では珍しいことだったのでとても新鮮でした。「日本人ですか?」と聞かれて、そうであると答えると「最近日本に行ったんだ」と日本旅行の思い出話をしてくれることもありました。人々には思いやりがあって、日本人と同じように感じていることがわかったと心が温かくなりました。それから「How are you?」と聞かれると、私からも聞き返したり会話をするようにしました。留学前は国境を超えて様々な人とコミュニケーションを取ることや、家族と離れて異国の地で過ごすことに不安もありました。留学後は自分に自信もつきました。今後忘れる事のないかけがえのない経験になりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は将来やりたい事や明確な夢はまだ見つかっていません。この1ヶ月間の留学を終えて、日本だけでなく他の国の人と共に仕事をしたり海外で生活をしたいと考えています。今回の経験は20歳というこれから何にでも挑戦できる時に1ヶ月も家族と離れて毎日英語にふれながら生活したことは今後の人生にプラスになると思います。多くの新しいことも吸収したので、留学の前と後では物事の見方も違っていると思います。自分から外国の方がいる場所に踏み込んで、日本にいても英語にふれることはできます。この短期留学がゴールではなくスタートになるようにしたいと考えています。
5. 自由記述	オーストラリアの食べ物は全て美味しかったです。特に野菜の新鮮さに驚きました。特に人参とズッキーニが日本のものよりもジューシーで美味しかったです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者N】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は以前から留学に興味がありました。大学生生活も2年目に入り慣れてきたので今回留学することに決めました。自分の今の英語力でどこまで外国で対応できるのか試してみたいと思いました。また、留学へ行き視野を広げることで将来の目標などを考えるきっかけになれば良いと思いました。グループ型留学は引率の先生も一緒に参加して下さいますし、叔父が過去にオーストラリア留学に行っていたこともあり、安心感もありました。初めて海外に行く私にとっては好条件で両親も安心して応援してくれました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	学校では、英語の授業に加えオーストラリアの文化や動物についての説明がありました。アクティビティでは現地の学生や他大学の学生との交流を行いました。放課後は主にフリーバスを利用し、ビーチやモールに行きました。おすすめのお店を学生同士でシェアしたり、現地の人におすすめを尋ねてみることもありました。特に予定も立てずに臨機応変に楽しみました。オーストラリアは8月でも日差しが強かったので暖かく、ビーチで足を海に浸したり砂浜を散歩して楽しみました。週末はホストファミリーと過ごしたり、友達とシドニーへ遊びに行きました。ホストファミリーが誘ってくれる予定には積極的に参加しました。貴重な経験ができてよかったです。シドニーへ行く際は事前にホストファミリーにおすすめを確認してから遊びに行くことが多かったです。ホストファミリーともコミュニケーションも取れました。現地の人ならではのおすすめだったので、とてもよかったです。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	私の英語レベルが明確になり、最低限の日常会話には困らなかったことが自信に繋がりました。一方、最低限の会話が精一杯で現地の学生とのコミュニケーションを広げるほどの余裕がなくて悔しさを感じることもありました。ホストファミリーの集まりに参加した際も、会話の内容を理解することに苦労しました。貴重な時間に関わらず自室に逃げてしまったことを後悔しました。さらにリスニング能力を向上させたいと思いました。オーストラリアの人たちはとても温かったです。何か困ったことがあった時は積極的に声をかけてくれました。質問をした際、私の拙い英語でも理解しようとしてくれたことでとても心が救われました。また、結婚式の前撮りに遭遇した際、日本では素通りしがちですがオーストラリアではみんなでお祝いしていてとても温かい人たちがばかりでした。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回、自分の英語能力を把握できたのでさらに向上させたいという意志が強くなりました。実際現地の人たちと交流してみて、会話を十分に理解して自分の思っていることを正確に伝えたいと思いました。また会話の内容を理解することに精一杯にならず、会話を楽しみたいという気持ちが強くなりました。今後はスピーキングとリスニングに力を入れてオーストラリアで向上した英会話能力を錆びつかせないためにも、積極的に海外の人とコミュニケーションを取りたいと考えています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 9 月 20 日

## 海外留学報告書

## 【参加者〇】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 17 日 ~ 2024 年 9 月 15 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した一番の理由は、日本から出てみたかったからです。今まで日本から出てたことがなく、外国の雰囲気を味わってみたいと思ったことが留学のきっかけです。私は以前より英語に興味がありました。本で学習するよりも、現地に行きリアルな英語を学びたいと思いました。1番最初の留学がこのオーストラリア留学で本当に良かったと思います。異なる文化、言語、人、ホストファミリーの温かさ、何もかもが素晴らしくて良い経験となりました。まだまだ英語は勉強不足ですが、これから英語の学習時間を増やし、また機会があれば留学しようと思います。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での授業は座学がメインでした。日本の大学と同じで先生が私たちに教えるという形でした。グループ活動が多かったので英語を話す機会が多く、徐々に英語を話す自信がついていきました。またホストファミリーと過ごしていく中で、その家の雰囲気や生活様式がわかっていきました。私はオーストラリアの家の大きさに驚きました。現地の人は土地が広いから大きい家がたくさん建てられるという話をしていました。また、食事時間や内容が日本とは異なりました。良い経験ができたと感じました。
3. 留学の成果 ( <ul style="list-style-type: none"><li>・目標の達成度</li><li>・新しく発見したこと</li><li>・新しく感じたこと など</li></ul> )	まず私のこの留学の目標というのは留学というものを知るという事でした。初めての留学ということもあり、どここの国に行くというよりも、留学が自分にどのような変化をもたらすのかということを知ることが目標でした。結果的にはとても良い経験ができ、できれば帰りたくなかったというのが正直な気持ちです。オーストラリアという国は素晴らしい国でした。最初は留学やホームステイが私に大きな変化をもたらすとは考えてませんでした。新しい人とふれ合う経験はこの留学で一番感慨深いものでした。最初はKIUの同級生がいないので心細い状態でした。皆と同じ時間を過ごし一緒に一喜一憂する中で、留学前の自分よりも大きく成長できたと感じています。そして大学生活の中でも早い段階でこの経験ができたことは、とても有益なことだと感じています。留学の素晴らしさというのは留学をした人にしかわからないものです。この留学を通して自分自身に自信を持つことがいかに大切かを思い知りました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	まずは留学というものを振り返り、改めて何を学び何を感じたのかを自分自身で再確認していこうと思います。そして今の自分には何が足りないのか、なぜ再度留学をしたいと思うのかを留学を通して再認識することができました。今後は自分の課題に対してしっかりと向き合っていこうと思っています。そして異文化や外国の人とふれ合うということは、視野を大きく広げ多様性のある人間へと成長させてくれるとこの留学を通して感じました。これからの大学生活を以前よりも楽しく充実した生活にするためには自ら考え実行していく自信があります。また成長した姿で留学に挑戦しようと考えています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム  
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない  | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる   |
| 3. どちらでもない    |              |

**1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。**

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

**2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。**

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

**3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。**

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

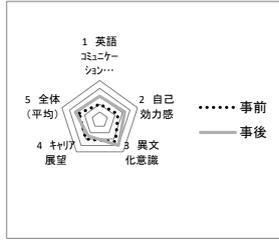
**4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。**

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2024年度 夏期英語研修(グループ型) 参加前後における意識調査アンケート結果 (ウーロンゴン大学) 対象者:15名

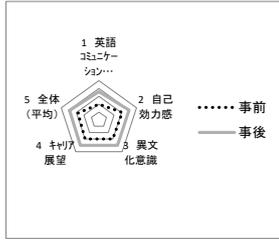
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.0
2 自己効力感	2.4	3.3
3 異文化意識	3.4	4.0
4 キャリア展望	3.0	2.5
5 全体(平均)	2.7	3.2



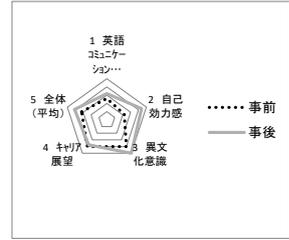
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.6
2 自己効力感	3.1	4.0
3 異文化意識	3.0	4.0
4 キャリア展望	3.0	4.0
5 全体(平均)	2.8	3.9



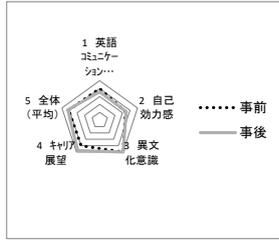
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	3.2
2 自己効力感	2.2	4.4
3 異文化意識	4.0	5.0
4 キャリア展望	4.0	3.8
5 全体(平均)	3.2	4.1



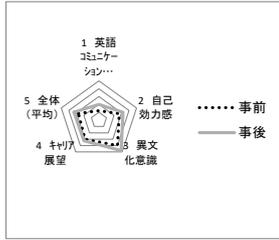
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	4.0	3.6
2 自己効力感	3.4	3.5
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.0	4.8
5 全体(平均)	4.1	4.2



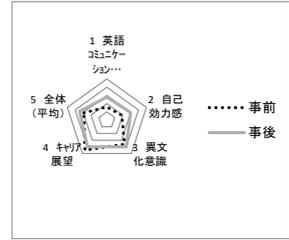
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.2	2.0
2 自己効力感	2.7	3.2
3 異文化意識	4.0	4.8
4 キャリア展望	3.0	3.3
5 全体(平均)	2.7	3.3



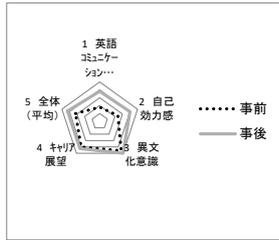
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.6	2.8
2 自己効力感	1.9	3.0
3 異文化意識	3.6	4.0
4 キャリア展望	4.5	4.0
5 全体(平均)	2.9	3.5



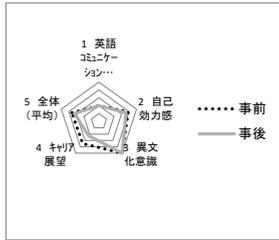
【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.8	3.8
2 自己効力感	2.4	4.0
3 異文化意識	4.6	5.0
4 キャリア展望	4.0	4.3
5 全体(平均)	3.2	4.3



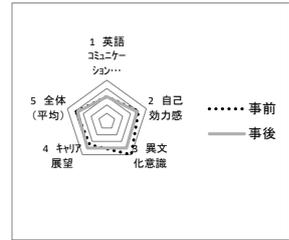
【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.0
2 自己効力感	3.9	3.6
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	3.5	2.3
5 全体(平均)	3.6	3.2



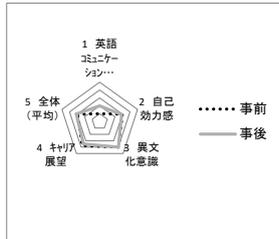
【参加者I】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.0
2 自己効力感	4.0	3.8
3 異文化意識	5.0	4.0
4 キャリア展望	3.5	4.0
5 全体(平均)	3.9	3.7



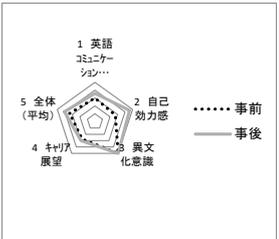
【参加者J】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	2.0
2 自己効力感	3.0	2.9
3 異文化意識	4.0	4.0
4 キャリア展望	3.8	3.5
5 全体(平均)	2.9	3.1



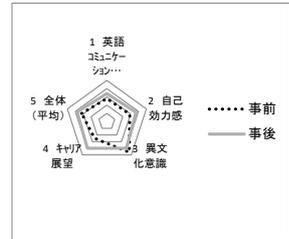
【参加者K】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.6
2 自己効力感	2.7	4.6
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	2.8	3.0
5 全体(平均)	3.4	4.1



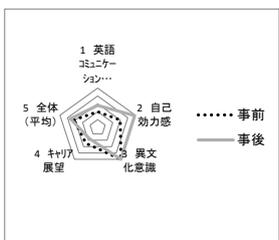
【参加者L】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.4
2 自己効力感	2.9	3.7
3 異文化意識	4.6	4.0
4 キャリア展望	2.5	4.0
5 全体(平均)	3.2	3.8



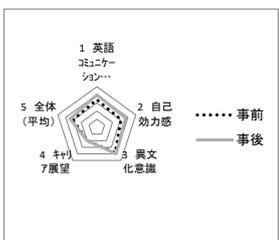
【参加者M】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.8
2 自己効力感	3.0	4.9
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	2.5	1.8
5 全体(平均)	3.1	3.6



【参加者N】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	4.0
2 自己効力感	3.1	3.7
3 異文化意識	3.8	4.0
4 キャリア展望	2.0	2.0
5 全体(平均)	3.1	3.4



【参加者O】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	2.8
2 自己効力感	2.8	3.6
3 異文化意識	4.0	4.2
4 キャリア展望	3.8	4.0
5 全体(平均)	3.2	3.7

